

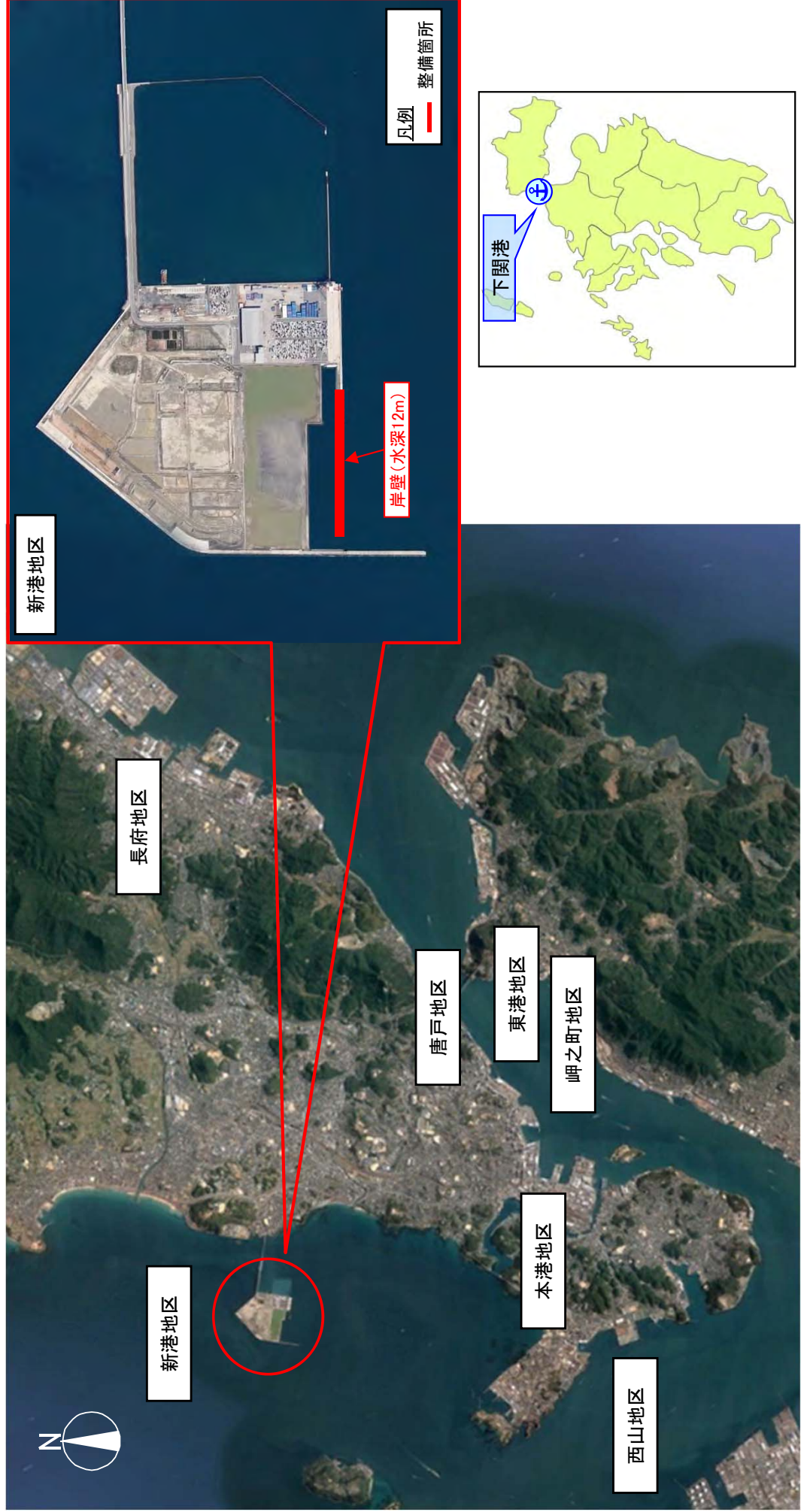
港湾・空港事業関係

■ 事業概要

○我が国港湾へのクルーズ船の寄港需要の大幅な伸びを踏まえ、「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定された下関港において、港湾施設の整備を行います。

◆令和2年度の事業内容：岸壁の整備を実施します。

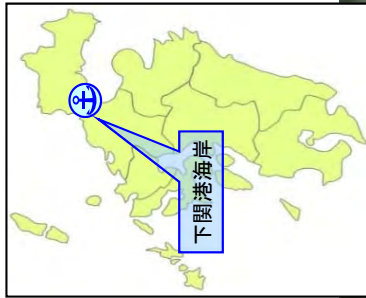
事業費：1,270百万円



下関港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

■事業概要

○平成11年の台風18号で発生した高潮によって背後地域が甚大な浸水被害を受けたこと等から、長府・壇ノ浦地区及び山陽地区において、高潮対策として既設の護岸の改良や水門設置等の整備を行います。



越波状況



平成11年9月台風18号による
背後地域の浸水状況



平成11年9月台風18号による
護岸及び道路の被災状況

事業費：1,137百万円



凡例 整備箇所

長府・壇ノ浦地区

山陽地区

北九州港における港湾整備事業【直轄】

①新門司地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業(水深10m等)

■ 事業概要

○完成自動車等の輸送量増大、船舶大型化への対応及びトトラックドライバー不足による長距離国内物流機能への対応を図るとともに、大規模地震発生時においても、長距離フェリーの国内海上輸送機能の維持のため整備を行います。

◆令和2年度の事業内容：岸壁、航路の整備を実施します。

部分供用

事業費：1,550百万円

②響灘東地区 国際物流ターミナル整備事業(水深10m等)

■ 事業概要

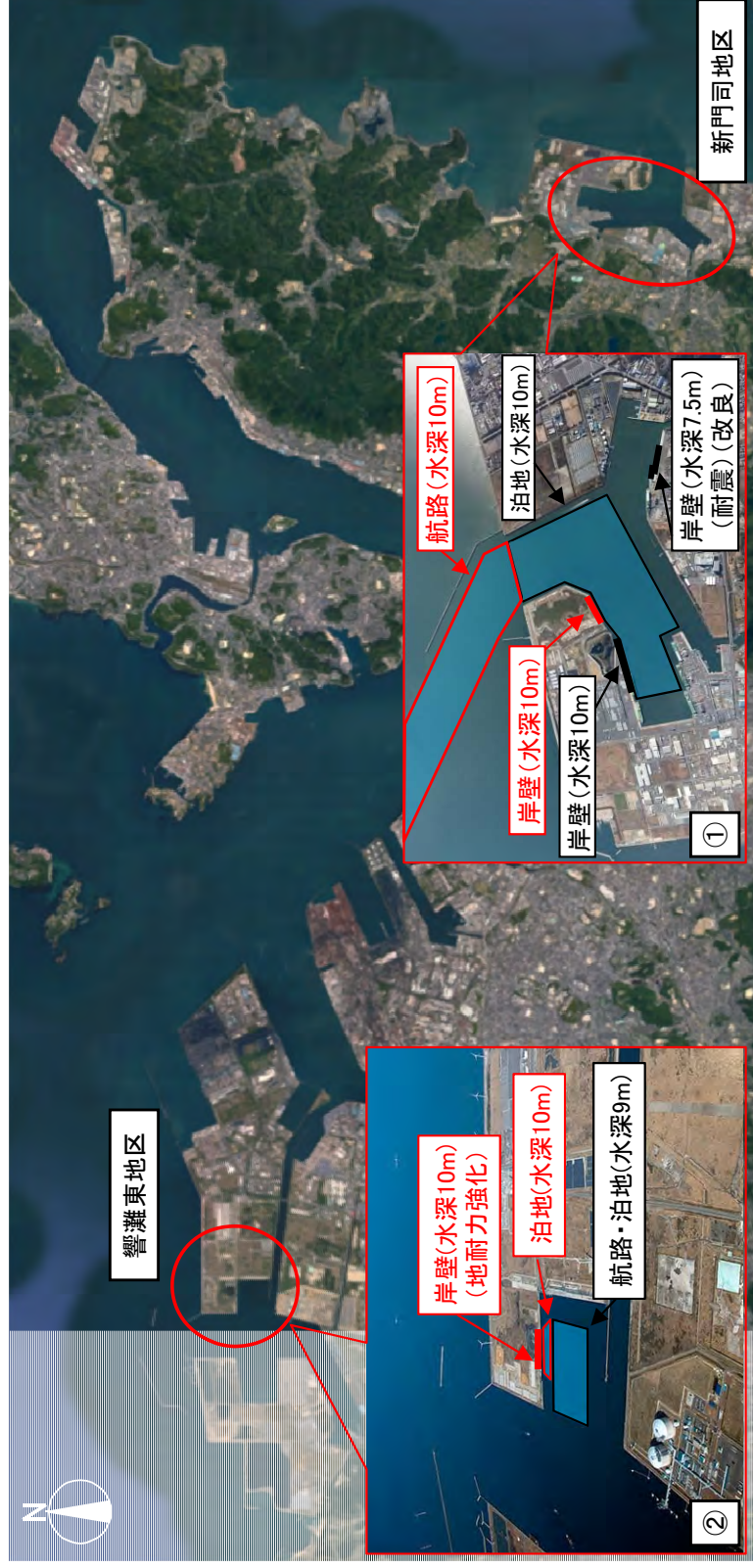
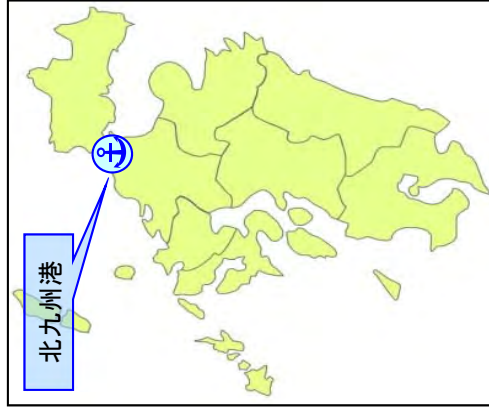
○洋上風力発電設備の効率的な輸送・建設を可能とし、洋上風力発電の導入促進を図るため、岸壁の整備、地耐力強化等の港湾施設の整備に着手します。

○令和2年度新規事業着手

◆令和2年度の事業内容：岸壁、泊地の整備を実施します。

新規

事業費：1,048百万円



博多港 アイランドシティ地区 国際海上コンテナターミナル整備事業(水深15m)【直轄】

■ 事業概要

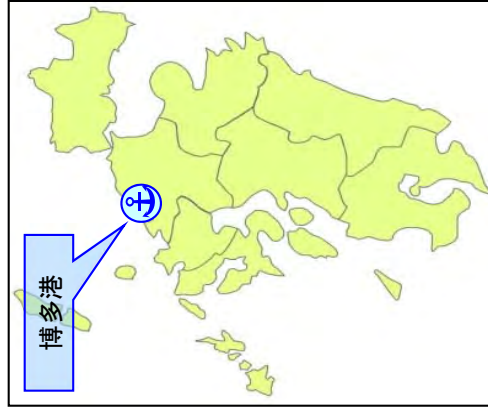
○海外トランシップの回避・ダイレクト輸送化等による物流効率化と国際競争力の強化を図るため、コンテナ貨物の需要の増大に対応したコンテナターミナル並びに港湾関連車両の円滑な物流動線を確保するため臨港道路の整備を行います。

また、係留延長の不足により生じている滞船の解消を目的として岸壁の整備を行います。

◆令和2年度の事業内容：岸壁及び臨港道路の整備を実施します。

部分供用

事業費：7,409百万円

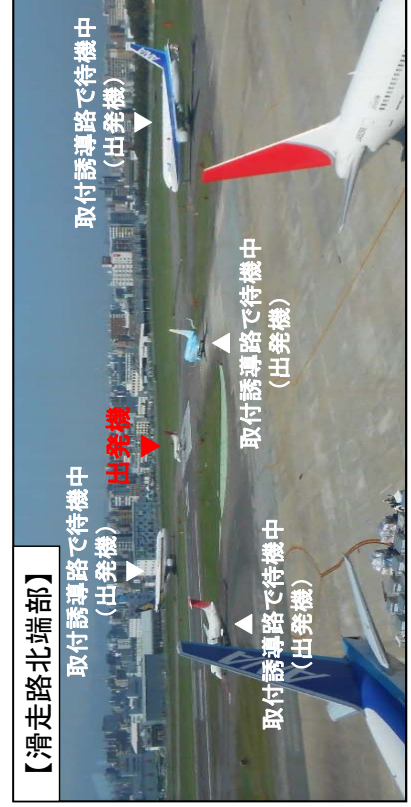


福岡空港滑走路増設事業【直轄】

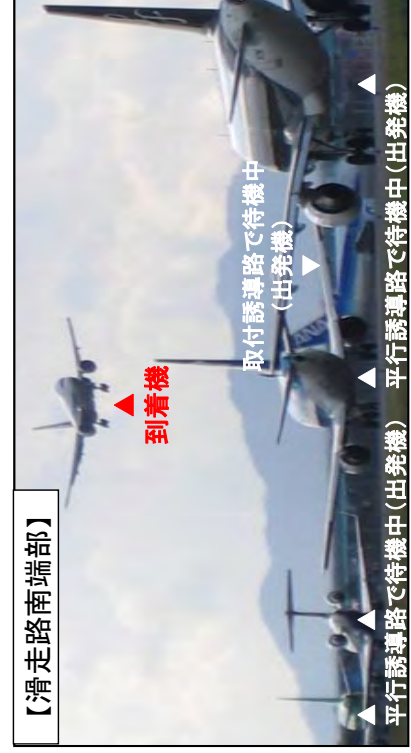
■滑走路増設事業の概要

- 目的：福岡空港で慢性的に発生しているピーク時の航空機混雑の抜本的な能力向上を目指し、受入環境整備の推進
- 供用開始予定日：令和7年3月31日 ※航空法第40条に基づく告示
- ◆令和2年度の事業内容：用地造成、滑走路新設、誘導路新設等の整備を実施します。

事業費：15,148百万円



【滑走路北端部】



【滑走路南端部】



福岡空港

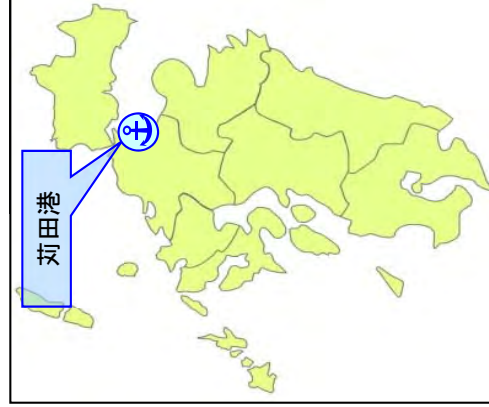
■ 事業概要

○石炭等の貨物の増加及び船舶の大型化への対応するために、岸壁の整備を行い物流の効率化を図ります。

また、航行船舶の安全性を確保するため、泊地の整備を行います。

◆令和2年度の事業内容：岸壁、航路及び泊地の整備を実施します。

事業費：2,200百万円



伊万里港(七ツ島地区)国際物流ターミナル整備事業(水深13m)【直轄】

■ 事業概要

○コンテナ物流の機能を向上させるための物流ターミナルの整備とともに、港湾関係車両の円滑な物流動線を確保するための臨港道路の整備を行います。

◆令和2年度の事業内容：臨港道路の整備を実施します。

継続

事業費：720百万円



長崎港松が枝地区旅客船ターミナル整備事業(水深12m)【直轄・補助】

港空-8

■ 事業概要

- 長崎港松が枝地区において、大型クルーズ船に対応した港湾施設の整備を行います。
- 令和2年度新規事業着手
- ◆令和2年度の事業内容：岸壁及び道路の整備のための設計・調査を実施します。

新規

事業費：200百万円



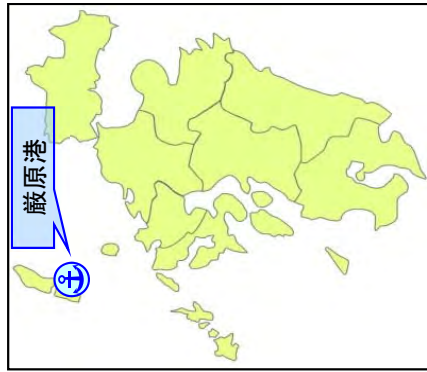
厳原港(厳原地区)離島ターミナル整備事業(水深7.5m等)【直轄・補助】

■ 調査概要

- フェリー等乗降客の安全性・利便性向上、荷役の効率化及び既存係留施設の老朽化に対応したターミナルの整備を行います。
- 令和2年度直轄事業完了
- ◆令和2年度の事業内容：岸壁及び道路の整備を実施します。

部分供用

事業費：528百万円

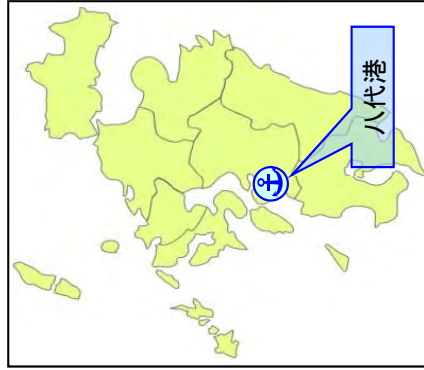


■ 事業概要

○九州中央に位置する穀物飼料原料の取扱ターミナルとして、船舶の大型化による輸送コストの削減を図るため、既存ターミナルの改良を行います。

◆令和2年度の事業内容：航路の整備を実施します。

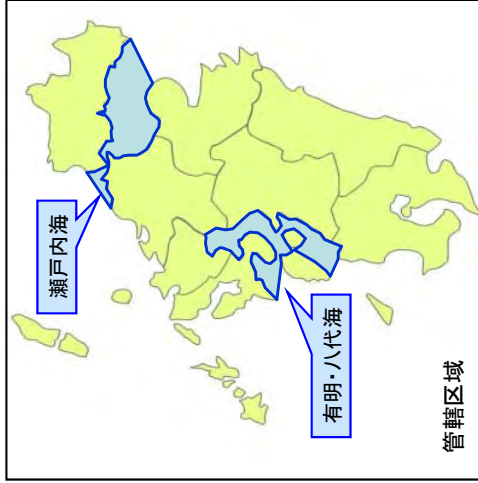
事業費：1,790百万円



■ 事業概要

- 瀬戸内海及び有明・八代海において、船舶航行の安全確保と海域環境の保全を図るため、海洋環境整備船による浮遊ごみ回収を実施します。
- ◆令和2年度の事業内容：引き続き、海洋環境整備船による浮遊ごみ回収を実施します。

事業費：597百万円



「海煌(かいこう)」(有明・八代海)による流木の回収



「がんりゅう」(瀬戸内海)による浮遊ごみ(萱・草)の回収



多関節クレーンによる流木の回収



回収した流木



浮遊ごみ(萱・草)

大分港における港湾整備事業【直轄・補助】

①大在西部地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業(水深9m)【直轄】

■事業概要

○トラックドライバー不足や労働時間規制による、モーダルシフトの需要が増加している中、大分港におけるRORO船の増便及び岸壁の水深不足に対応にむけた施設を整備します。

○令和2年度新規着手

◆令和2年度の事業内容 : 岸壁及び泊地の整備を実施します。

②坂ノ市地区 臨港道路細馬場線整備事業【補助】

■事業概要

○現在行き止まりとなっている臨港道路を幹線道路(国道197号)と接続させ、港湾関係車両の円滑な動線を確保し、利便性を向上させるため、臨港道路の整備を行います。

○令和2年度個別補助事業化

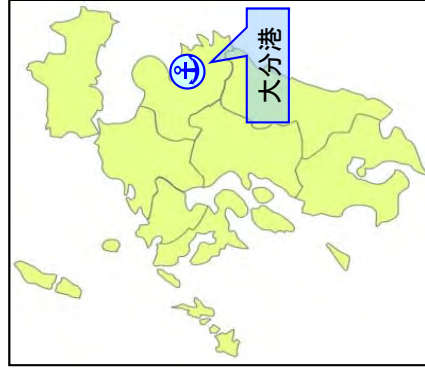
◆令和2年度の事業内容 : 道路の整備を実施します。

新規

事業費 : 230百万円

新規

事業費 : 152百万円



大分港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

■事業概要

○南海トラフ地震・津波の切迫性に加え、台風時の高波・高潮によって背後地域が浸水被害を受けたことから、住吉地区、津留地区、乙津地区、鶴崎地区及び鶴崎地区において、津波・高波・高潮対策として護岸（改良）等の整備を行います。



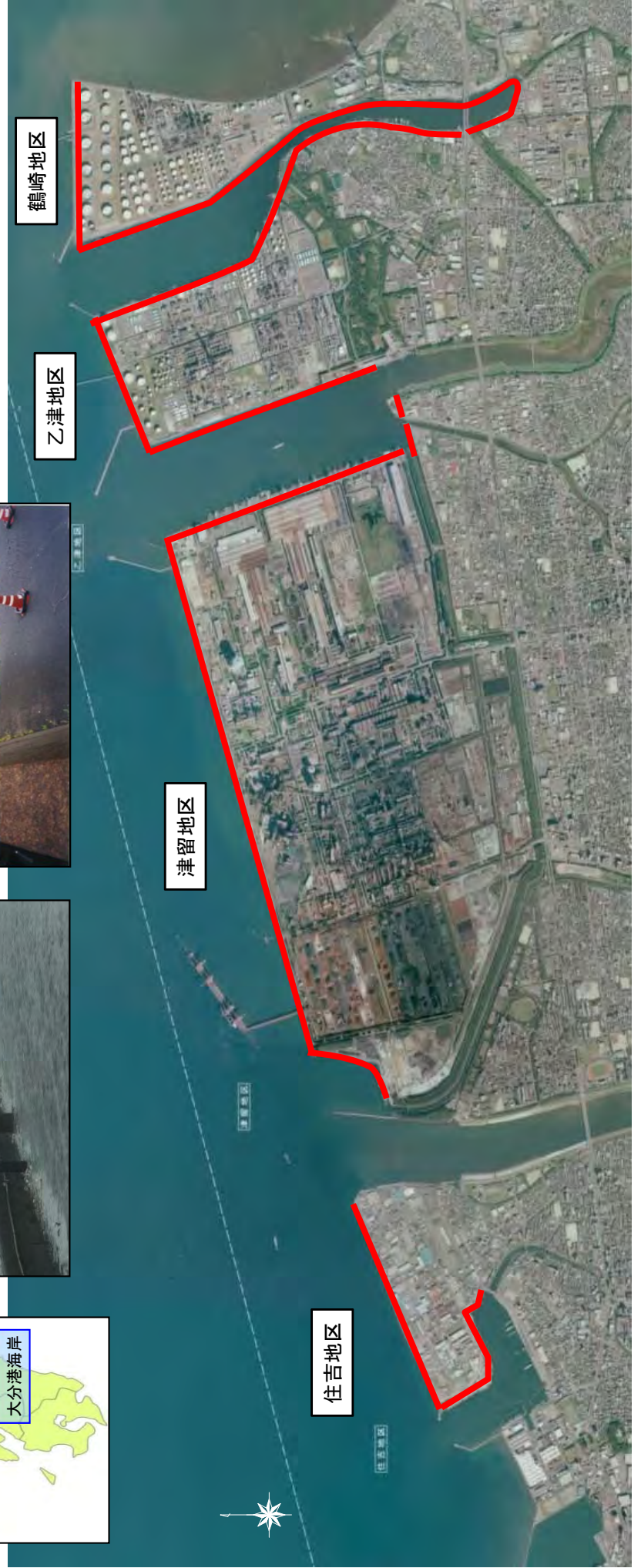
平成26年10月台風19号
による背後の浸水状況



高波浪による吸い出しに伴う
水たまりの陥没状況

事業費：1,524百万円

凡例
— 整備箇所



細島港における港湾整備事業【直轄・補助】

①外港地区 防波堤整備事業【直轄】

■ 事業概要

○港内の静穏度を確保し、荒天時における荷役作業の効率化、船舶の安全性の確保並びに津波浸水被害の低減を図るため、防波堤の整備を行います。

◆令和2年度の事業内容：防波堤の整備を実施します。

継続

事業費：400百万円

②白浜地区 津波防波堤整備事業【補助】

■ 事業概要

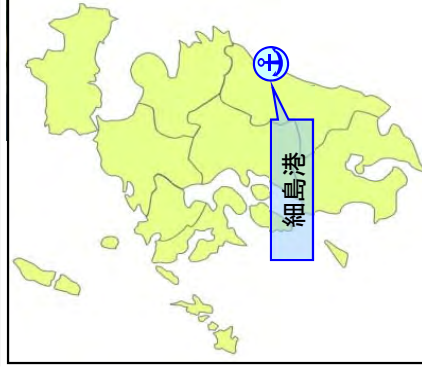
○南海トラフ地震等の大規模地震・津波対策を実施します。

◆令和2年度完了

◆令和2年度の事業内容：防波堤の整備を実施します。

供用

事業費：256百万円



油津港（東地区）国際物流ターミナル整備事業（水深12m等）【補助】

港空—15

■ 事業概要

- 大規模地震発生した場合、油津港背後の宮崎県南地域の緊急物資輸送の拠点として、耐震岸壁を整備します。
- ◆令和2年度の事業内容：耐震強化岸壁の整備を実施します。

部分供用

事業費：1,260百万円



Google Earth

鹿兒島港における港湾整備事業【直轄】

①国際クルーズ拠点整備事業

■事業概要

○我が国港湾へのクルーズ船の寄港需要の大幅な伸びを踏まえ、「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定された鹿兒島港において、港湾施設の整備を行います。

◆令和2年度の事業内容：岸壁及び航路・泊地の整備を実施します。

②鴨池中央港区 臨港道路整備事業

■事業概要

○港湾物流の円滑化を図り離島へ供給する生活物資の安定供給を目的として、臨港道路の整備を行います

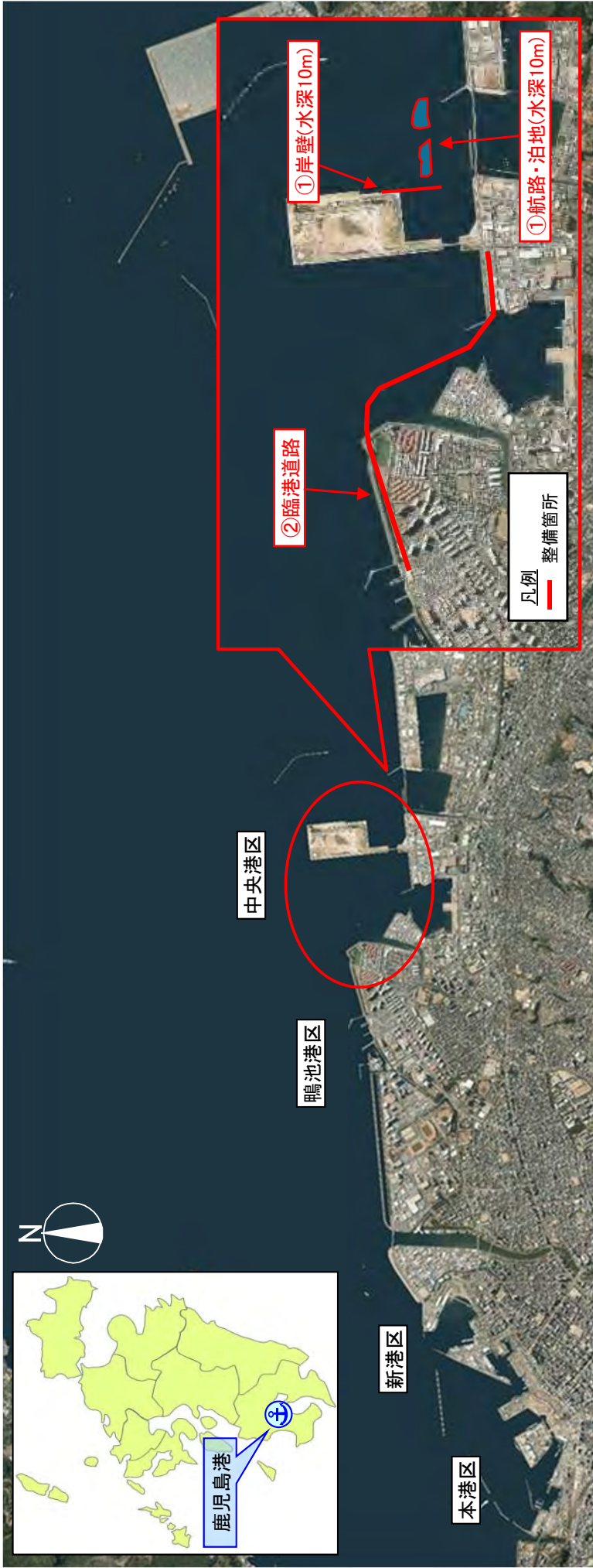
◆令和2年度の事業内容：臨港道路の整備を実施します。

継続

事業費：2,288百万円

継続

事業費：1,500百万円



①新若浜地区 国際物流ターミナル整備事業(水深14m)

■ 事業概要

○貨物増加及び貨物船の大型化に対応し、係留延長の不足により生じている滞船の解消を目的として岸壁の延伸を行います。

◆令和2年度の事業内容：岸壁の整備を実施します。

②新若浜地区 ふ頭再編改良事業(水深14m)

■ 事業概要

○南九州地方の畜産業を支える穀物の輸入・移出拠点として、企業間の連携による大量一括輸送に対応した輸入拠点及び効率的な海上輸送ネットワークを形成するための整備を行います。

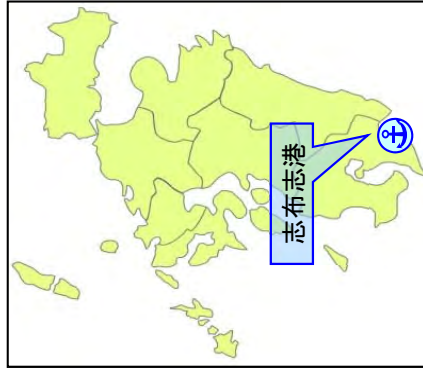
◆令和2年度の事業内容：岸壁の整備を実施します。

部分供用

事業費：1,380百万円

継続

事業費：220百万円



指宿港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

■事業概要

○砂浜の著しい侵食と既設護岸の老朽化により、台風時の高波・高潮によって背後地域の浸水被害や背後道路の陥没等が発生していることから、湯の浜地区において、侵食対策として離岸堤（改良）や養浜等の整備を行います。



事業費：984百万円

凡例 整備箇所



都市・住宅事業関係

都市公園事業(海の中道海浜公園)

継続

都住-1

■北部九州の広域的レクリエーション需要に対応した整備

○本公園は、北部九州の広域的レクリエーション需要に対応するために整備を進めている国営公園。

○現在まで約298haが供用中。

○引き続き、玄界灘海浜部の敷地造成や給排水設備耐震改修、駐車場再整備等を行うことで、レクリエーション需要への対応の充実や環境学習の場の提供を図る。

事業費：1,113百万円

給排水設備耐震改修

玄界灘海浜部の敷地造成等整備

駐車場再整備



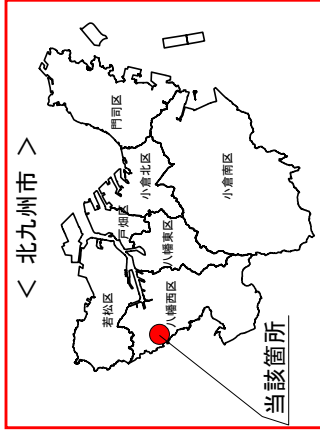
JR筑豊本線・鹿兒島本線(折尾駅付近)連続立体交差事業【補助】

継続

都住-2

- 折尾駅周辺を縦横に走る鉄道により、市街地の分断や踏切による交通渋滞が慢性化しているため、鉄道を連続立体交差化し、9箇所の踏切を除却することにより、交通渋滞の解消、住環境の改善、まちの一体化と回遊性の確保等を図るとともに、交通結節機能の強化を図る。
- R2年度は、JR鹿兒島本線高架切替及び新駅舎完成を目指し、事業を推進。

《位置図》

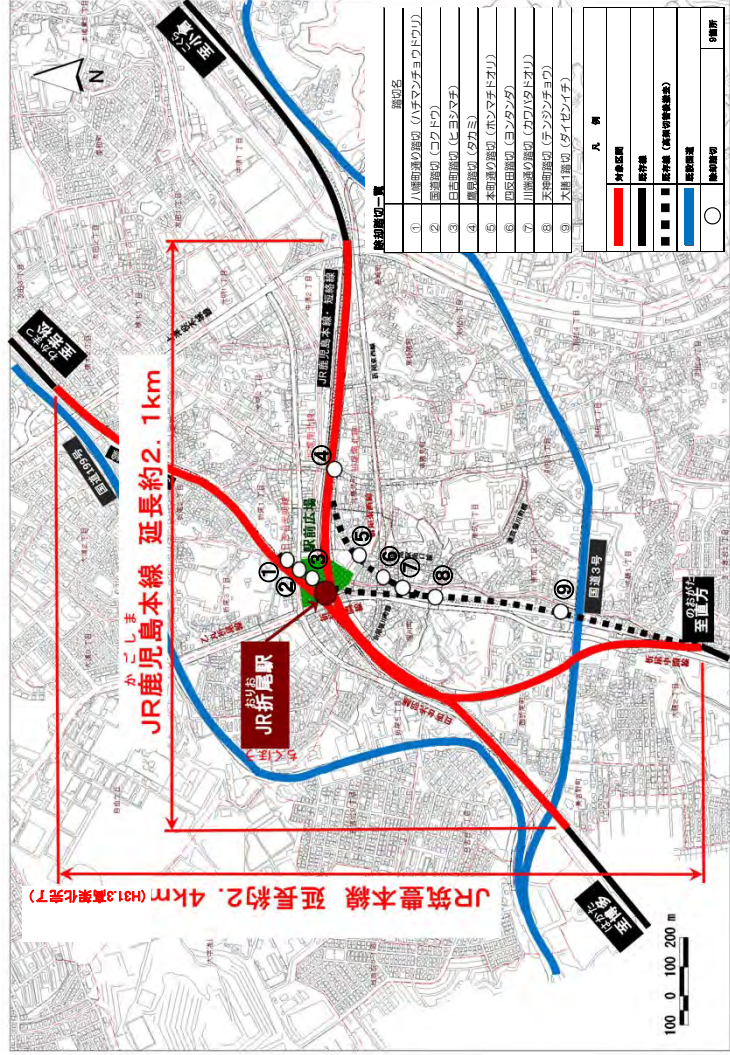


《諸元等》

事業費：2,500百万円

事業主体：北九州市
 事業区間：筑豊本線（北九州市八幡西区千代ヶ崎一丁目～大膳二丁目）
 鹿兒島本線（北九州市八幡西区長崎町～美吉野町）
 事業期間：平成16年度～令和4年度
 延長：約4.5km
 除却踏切数：9箇所

《平面図》



《効果》

- ・踏切交通遮断量が100%削減され、交通渋滞が解消 (181,393人台・時間/日 ⇒ 0人台・時間/日)
- ・新しい駅舎や駅前広場の整備による交通結節機能の向上
- ・連続立体交差とすることにより、まちの一体化による回遊性が向上



②国道踏切

②国道踏切

- 北九州市の小倉都心部では、近年局地的豪雨による中小河川等からの溢水により、浸水被害が多発している。特に平成25年7月豪雨では、観測史上第一位の73.0mm/hの豪雨が観測され、多くの浸水被害が発生した。
- このため、対象流域における河川の水位低下及び浸水被害の軽減を目的として、下水道と河川が連携し、それぞれ対策を実施中。
- 事業間連携下水道事業により、小倉都心部のうち昭和田地区において、河川(紫川・神嶽川)の整備と併せて雨水貯留管を整備することで、事業効果の早期発現を図る。

事業費：1,400百万円

《位置図》

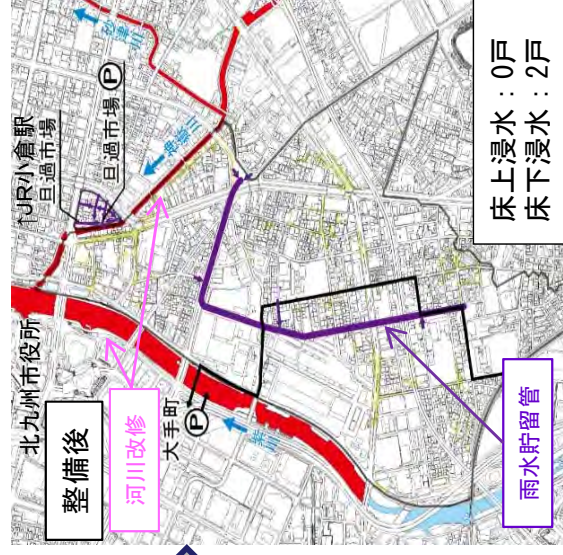
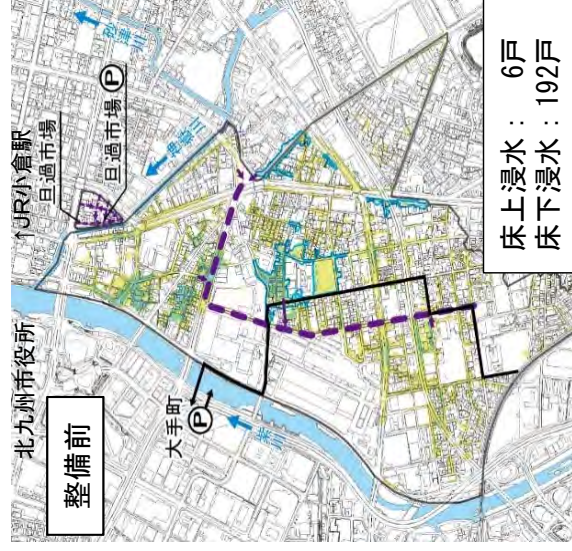
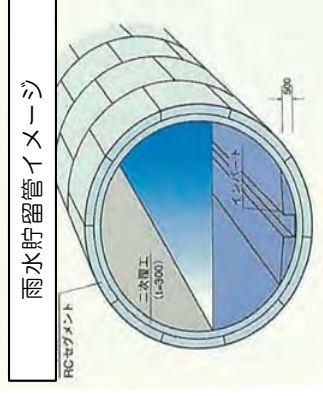


《諸元等》

- 事業主体 : 北九州市
- 事業内容 : 雨水貯留管
φ3,000、L=1,500m
V=9,500m³(プール約26杯分)

《事業の効果》

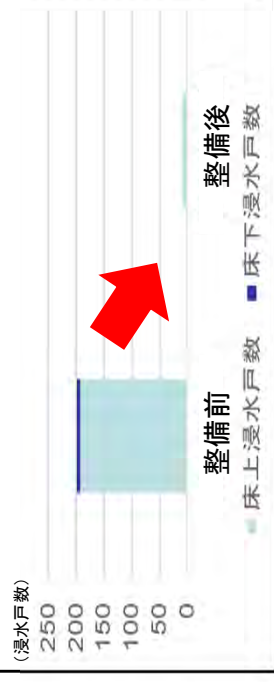
※河川部局による紫川・神嶽川の整備(河床掘削、築堤等)効果も含む



【浸水深】
145cm以上
95cm以上
45cm以上
20cm以上
1cm以上
実績浸水範囲

(床上浸水1m 以上) 未満
(床上浸水1m 未満) 未満
(床上浸水50cm未満) 未満
(床上浸水20cm未満) 未満
(床上浸水1cm未満) 未満

平成25年7月豪雨浸水被害範囲が大幅に減少の見込み



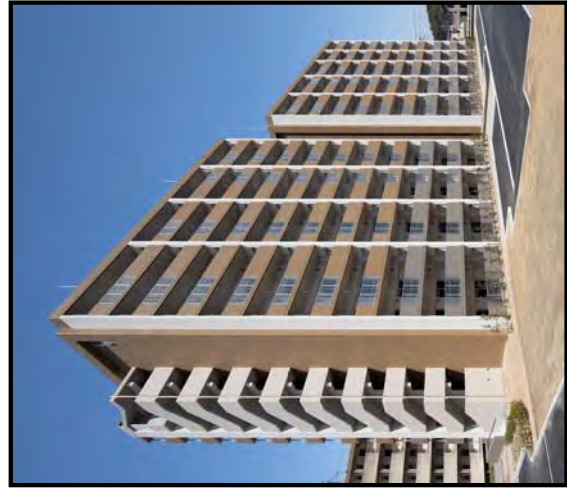
事業費：2,964百万円

なかづる

■ 中間市中鶴地区

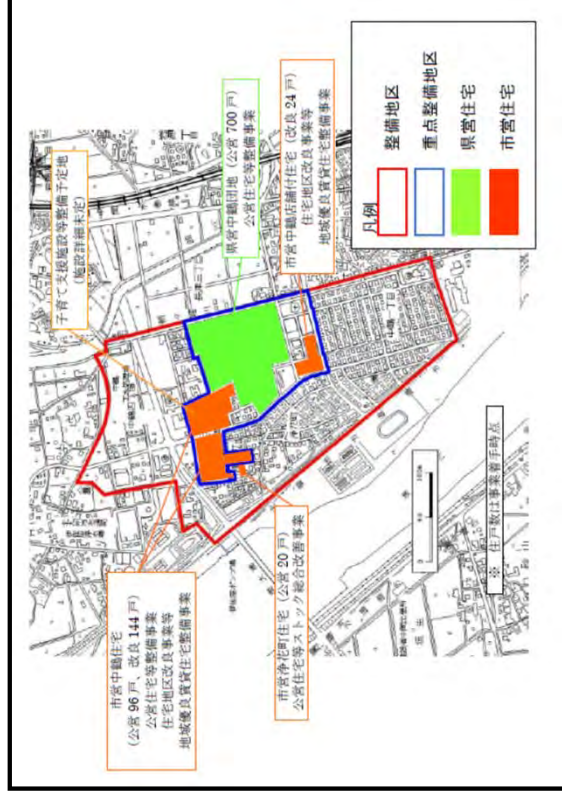
なかづる

- 老朽化した県営中鶴団地（昭和45～50年度建設）、中間市営住宅（昭和44～50年度建設）について、福岡県、中間市が連携して建替事業等を実施。
- 公営住宅の建替え等に併せて、福岡県と中間市が良好な景観形成及び住環境・防災機能の向上を図るための歩道等の整備等を連携し、円滑かつ効率的な建替事業等を実施。
- 建替事業等により耐震性等の安全性向上や高齢社会対応住宅の普及促進が図られるとともに、生活支援施設の整備等に伴い、地域の拠点化及び居住機能の再生が推進される。



なかづる

県営中鶴団地



なかづる

中間市中鶴地区 概要図



地域優良賃貸住宅(中間市)

ながさき JR長崎本線連続立体交差事業(浦上駅～尾上町)【補助】

継続

都住-5

ながさき

■本事業において4か所の踏切を除却することで、踏切事故及び交通渋滞を解消させるとともに、分断された市街地を一体化させ、都市の活性化を図る。また、長崎駅部については九州新幹線（西九州ルート）及び長崎駅周辺土地区画整理事業と一体的に整備を進めることで、広域交通・市内交通の結節点の形成や地域の交流とにぎわいの創出を図る。

■R2年度は鉄道施設撤去や高架本体工事（2次切替）、側道整備の事業を推進。

事業費：5,460百万円

【位置図】



【諸元等】

事業主体：長崎県
 事業区間：長崎県長崎市松山町～尾上町
 事業期間：平成21年度～令和3年度
 延長：約2.5km
 除却踏切：4か所

【効果】

■踏切除却による交通渋滞及び交通遮断の解消



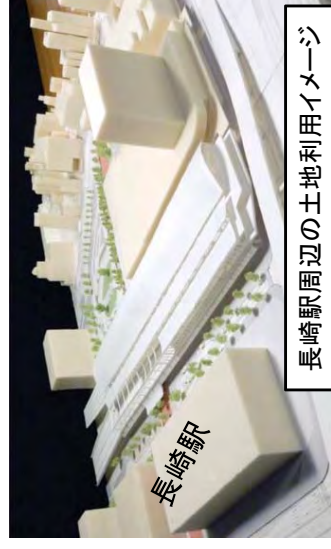
- ・踏切による交通渋滞・交通事故
- ・踏切による交通遮断量
101,800台・時間/日



『ゼロ!』

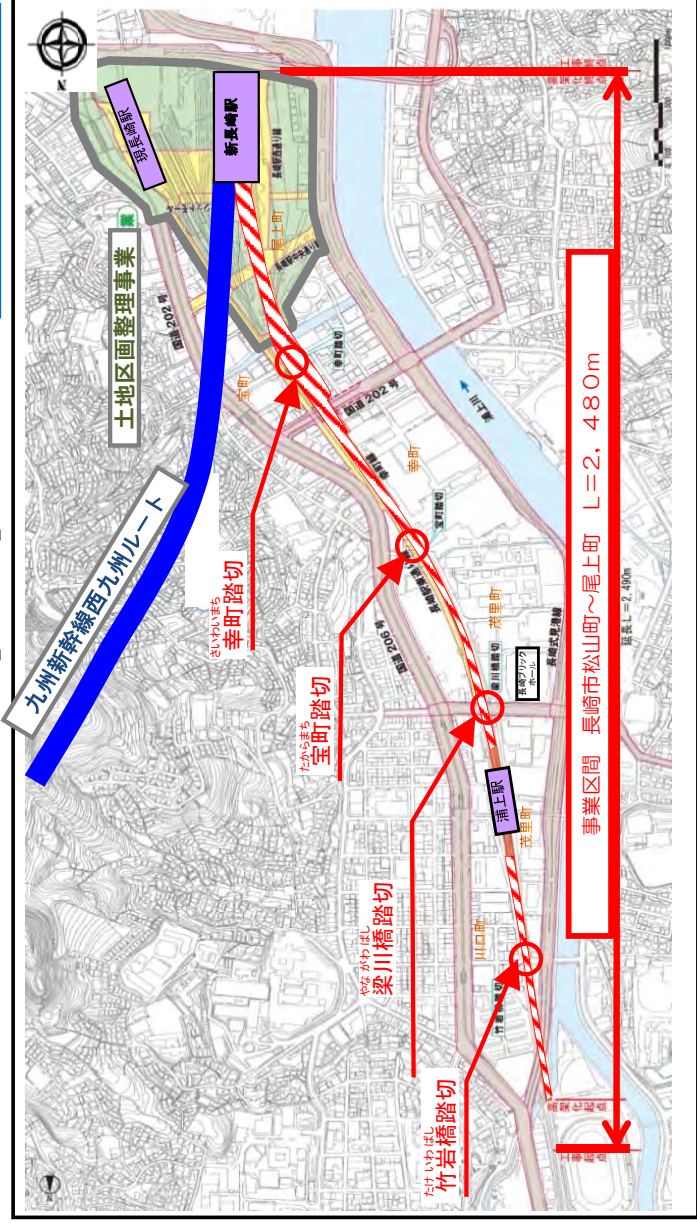
■土地利用の転換による都市基盤施設の整備と土地利用の促進

- 長崎の玄関口にふさわしい都市拠点の形成
- 高架下の土地の有効利用
- 交流人口の拡大・都市経済活動の活性化



長崎駅周辺の土地利用イメージ

【平面図】



益城中央被災市街地復興土地区画整理事業、(都)益城中央線ほか1線

継続

都住一六

■本地区は、平成28年熊本地震で最も建物被害が集中し、倒壊家屋による道路の閉塞により避難経路が確保できないなどの問題が生じたことから、被災した建物の早期再建とともに町の都市拠点として快適で災害に強いまちづくりを実現するため、県道熊本高森線(都市計画道路益城中央線外1線)の整備と合わせた区画の再編を図る。

■R2年度は、木山交差点付近の建物補償、道路築造、道路築造、熊本高森線の建物調査、用地補償、道路改良工を行う。



当該地区

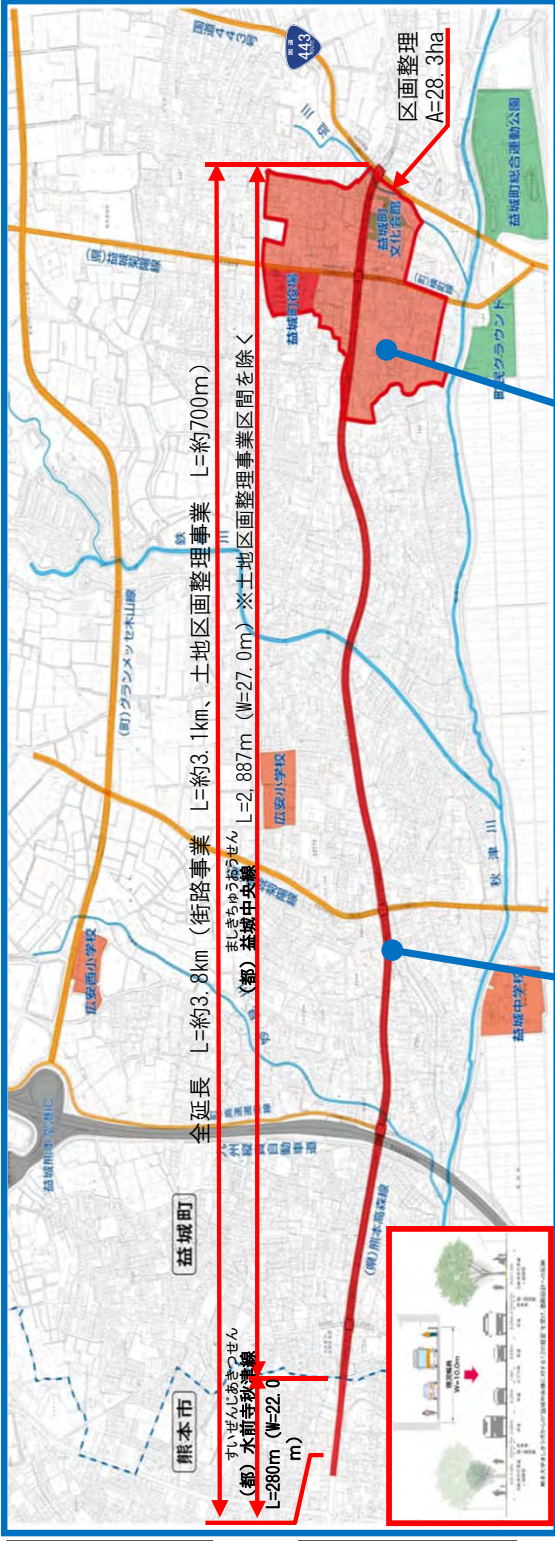
80



建物及び宅地擁壁の倒壊



狹隘道路沿いの建物倒壊



県道熊本高森線4車線化

- 事業主体 熊本県
- 施行期間 H28年度～R7年度
- 全体延長 L=3,167m
- 幅員 W=27.0m

緊急輸送道路としての防災機能の向上を図るとともに、創造的復興のシンボルとして町の中心軸となる県道熊本高森線を整備



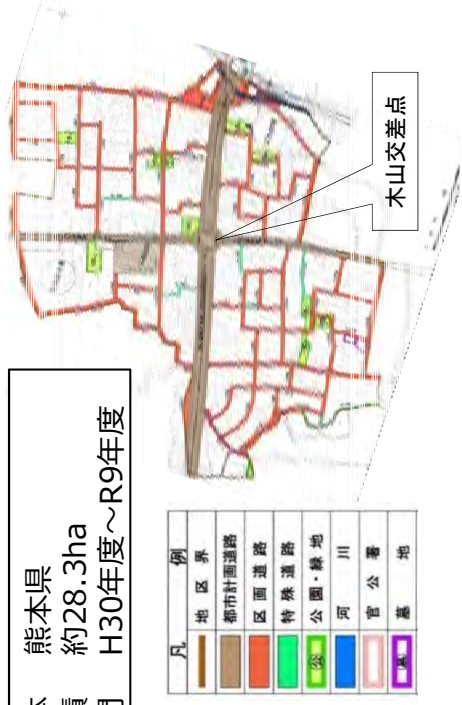
益城町及び熊本大学ましきラボと連携し、道路空間模型等による設計過程の見え化により住民意向を反映



益城中央被災市街地復興土地区画整理事業

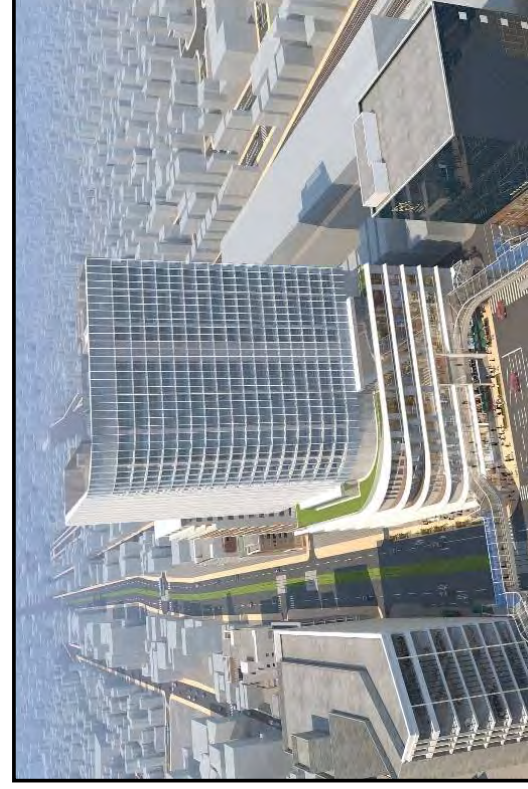
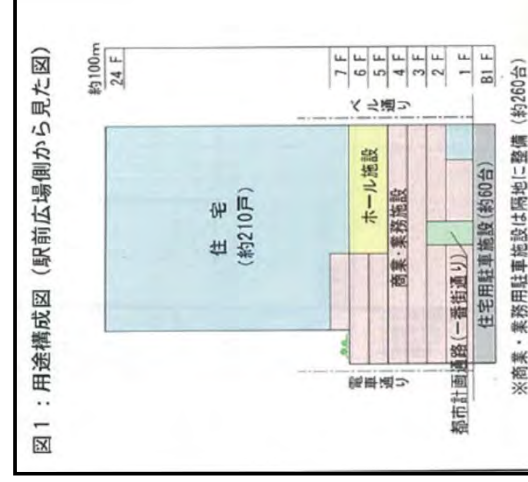
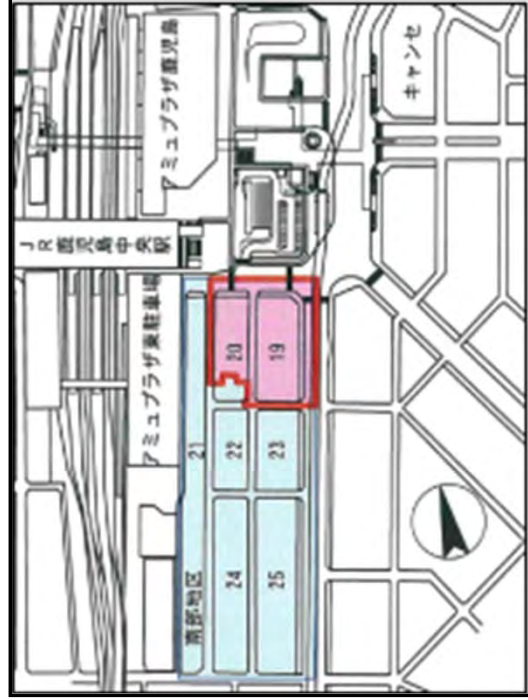
町の中心部 (木山地区) において、にぎわい・健康・文化の交流拠点を整備

- 事業主体 熊本県
- 施行面積 約28.3ha
- 施行期間 H30年度～R9年度



■ 中央町19・20番街区第一種市街地再開発事業

- 所在地：鹿児島県鹿児島市中央町 施工者：市街地再開発組合
 - ・複合施設（主な用途：住宅210戸、商業・業務施設、ホール施設、駐車場）延べ面積：47,735㎡
- 鹿児島中央駅周辺は、九州新幹線鹿児島ルート全線開業や様々な開発などにより、まちの活性化が進んでいる状況である。しかし、東口駅前広場に面する当該街区では、建築物の老朽化が進むと共に、商業の活力が低下している状況であることから、駅前の立地を活かした再開発を促進し、にぎわいとゆとりある都市空間の創出などを図る。



鹿児島市中央町地区 概要図

用途構成図

中央町19・20番街区第一種市街地再開発事業

官庁宮繕事業関係

鹿児島第3地方合同庁舎整備事業【直轄】

継続

営繕-1

■ 事業概要

鹿児島法務総合庁舎及び鹿児島地方法務局の耐震性能不足・老朽化による不具合解消を目的とし、災害応急対策活動に必要な機能を確保した国の防災拠点としての役割を果たすとともに、鹿児島城(鶴丸城)の御楼門の周辺整備と連携することによって観光振興やまちづくりに貢献し、「歴史と文化の道」の景観に配慮した庁舎を整備するものである。

□ 場所 鹿児島県鹿児島市

□ 構造・規模

鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 延べ面積11,835.82㎡

□ 令和2年度の事業内容 工事実施 ※国債(五箇年)の三箇年目

事業費：1,613百万円

入居官署

鹿児島地方検察庁・区検察庁

鹿児島地方法務局

鹿児島保護観察所

鹿児島財務事務所

ポケットパークからの御楼門の撮影イメージ



歴史と文化の道に面するエントランスモール

